

【写真】赤城南ろく、小坂子町の
緑美しい松林にかこまれ、赤城鍋
割を背景とした芳賀畜産団地。



畜産振興の期待をこめて

芳賀畜産団地完成

赤城南ろく鍋割を背景に

農林省が畜産公害の防止を目的に、畜産農家の経営の近代化、規模拡大をめざして、全国二十四か所に指定したうちの一つ「芳賀畜産団地」が完成、十月二十八日完工式が行なわれました。これは地元芳賀農協を事業主体に、県・前

昭和二十七年創立の前橋市立工業短期大学が、創立二十周年を迎え、十一月三日短大の推進の母体となった関係者や開設当時から尽力されたかたがたなど四百四十人を招いて記念式典が行なわれました。

この市立工業短期大学が、公立の短期大学として認可されたのは昭和二十七年二月二十日のこと。産業界の日進月歩の科学革命の中で、新しい時代に即応する優秀な技術者を養成、地域社会の技術水準の向上に貢献する——という

橋市が協力して、昨年から造成を進めてきたもので、県内初の畜産モデル団地です。
赤城南ろくの緑豊かな松林にかこまれた七・八ヘクタールの広大な敷地に、一区画七〇アールのミニ団

に鶏の音がにぎやかに聞こえる畜産団地は、畜産振興のために大きな期待がこめられています。



として保存しておいてください いくつかまた お役にたつことと思います

○

開校20年の星霜を刻む 市立工業短大

3日・盛大に20周年記念式典

一千九百人の卒業生を世に送る 産業界の中堅技術者として活躍

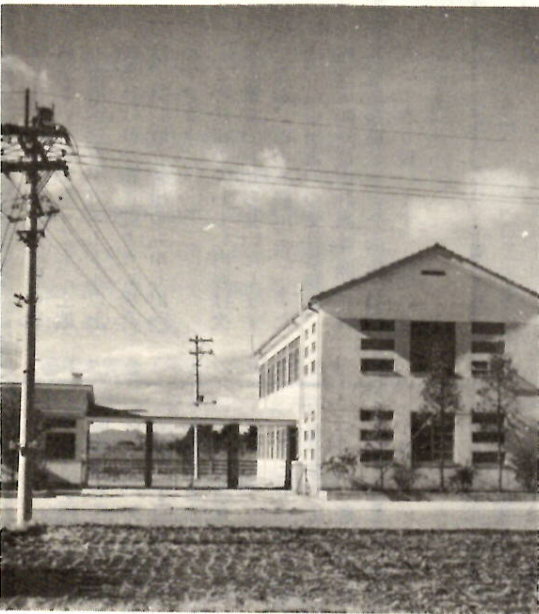
が三年となりました。

開学以来二十年、十七回の卒業生一千九百人を世に送り、官庁や有名会社の中堅技術者として活躍しています。建設部門一科のみ設置という姿は全国的にも特異な存在

在で、学生も全国から集まり、六百人の学生たちは若々しい情熱を傾けて勉学に励んでいます。



上佐鳥町にある現在の短大校舎



岩神町にあった開校当時の短大校舎



3日行なわれた記念式典

本市出身の音楽家・井上武士さんを招いて

(元東京音楽大学学部長)



講師
元東京音楽大学
学部長
井上武士さん

本市五代町出身、群馬師範学校を経て、東京音楽学校(現東京芸術大学)卒業。東京高師(現教育大)教諭・東京芸術大学・立教大学講師・東京音楽大学学部長歴任。うみ、チューリップ、うぐいす、落葉松、母を待たうなどを作曲。日本教育音楽協会名誉会長。

講演
作曲の思い出
人間の幸福
(昼)
(夜)

出演
市民音楽連盟加盟団体の合唱団、吹奏楽団、軽音楽団、ギター・マンドリンの合奏団、体および市内高校・中学・小学校のコーラス・吹奏楽等多数。



(市民音楽祭から一於群馬会館)

市民音楽祭

第25回

11月25日(土)

午後1時30分～9時10分
群馬会館ホール

「幼女はねられ即死」とか「幼児とぶつかる重傷」など、子どもの事故を報道する新聞記事が、最近目立って多くなっています。前橋警察署管内の、ことしの子どもの事故は、十月十日現在で百九十三件が発生、死者四人、傷者二百一人にもなっています。これを昨年同期にくらべてみると、件数・傷者は減っているものの、死者は倍に増えています。

とくに十月には、いつから幼児の死亡事故が相ついで二件も発生しています。その一つは、十月四日午後二時ごろ、総社町内の県道上で、母親と連れ立って歩いてきた三歳の女の子が、自宅が近くになったので先に行こうとして母親と離れて道路を横断しはじめたところを、軽トラにぶつかり、即死したものです。

もう一つは、十月八日午後二時十分ごろ、荒牧町内の市道で関根町の二歳の子どもが、反対側にいた母親のところへ行くようとして駆け出し、乗用車にはねられ即死したものです。

この二つの事故に共通することは、①母親の目の前で起きたこと②幼児が車の直前を横断したこと③運転者が道路上に子どもがいるのに、それに対する注意を欠き、速度を落とさずに進行したこと、の三つの点があげられます。これは子どもの交通事故に対し、母親や運転者の認識の低さを示しているものと思われまします。

この二つの事故を教訓として、母親の目の前で、いたくない幼児が生命を落とすことのないよう、お母さんがたと運転者に、次のことをおねがいいたします。

多発する—— 幼児の交通事故

お母さんがまず注意を



横歩断道を渡るときは細心の注意を

これらの事故は、母親などがちやんと注意すれば防げるものばかりです。この意味から、母親などにも責任の一半があるといえます。そこで、次のようなことに注意し、かわいいわが子を交通事故から守りましょう。

①子どもを道路上で遊ばせたり幼児のひとり歩きをさせない②車は急に止まれない——ことをよく教え、車の直前横断やとび出しを

しないよう、よくしつけること③子ども、とくに幼児や低学年児童と外出するときは——子どもの手をしっかりと持つこと、子どもから目をはなさないこと、道路の横断は一緒にすること、ハイヤーに乗るときは子どもを先に、降りると

最近、各都市で住宅用地をはじめ、道路、公園、緑地、その他の公共用地を取得する場合、産業・経済の発展ならびに都市化現象、そのほか各種の事情によって、用地の取得難を招いています。そのため、市街化区域の生活環境の計画的な整備を進めていく上に、多くの障害をおよぼしてきています。

こうした土地問題に対処し、公有地の確保、地域の秩序ある整備と公共福祉の増進をはかる——という目的で、六月の第六

十八国会で「公有地の拡大の推進に関する法律」が成立しました。この法律の施行によって、十

「公有地の拡大の推進に関する法律」が施行 譲渡の場合『届け出』義務が……市都市計画課が担当

二月一日から、市街化区域内の都市計画施設の区域として定められている土地を有償で譲渡しようとする場合は、その土地の所在、面積譲渡予定価格、譲渡

の相手方を市を経由して県に「届け出」なければならぬことになりました。この「届け出」を義務づけら

申し出については、届け出の義務がないものであっても、土地の面積が三百平方メートル以上であれば県や市へ売りたい場合は、買い取り希望の「申し出」ができます。

この法律のくわしい内容は次号広報紙でお知らせいたします。なお、この「届け出」または「申し出」の受付事務は、市役所四階都市計画課開発係（電話24局一一一内線三七五）で取り扱いまします。お問い合わせも同様へ。

プロパンガスは 定期調査を 前橋LPG保安 センターが発足

プロパンガスは、液化石油ガスLPガス、L・P・Gとも呼ばれ、かんたんな施設で使うことができ、熱量も高く、煙もススも出ず、その上、価格も比較的安い。この数年のうちに都市ガスをはるかにしのいで、現在市内では約四万五千世帯の家庭が利用しています。

しかし、こうした普及率の向上に伴って、プロパンガスによる災害事故も増加する傾向にあり、ことしには、すでに九件の火災または爆発事故が起り、九人が負傷しています。

消防本部の行なっている一般家庭の防火診断でもプロパンガス関係の指摘箇所が最も多く、全体

の三五パーセントにも及んでいます。消防本部では、プロパンガスの販売業者に対し、日ごろから法律にもとづいた調査を行ない、防火改修をするよう指導しています。関係業者としても人手不足などで満足な調査ができない状況にあり

ミニ・ニュース

婦人消防士が ねたきり 老人のお宅訪問 火災予防を重点に

昭和四十五年から現在まで、火災による死者は十三名、そのうち半数以上がおとしよりでからだの不自由なかと子どもです。この事故も、ほとんどがこれから四月にかけての火災シーズン中のものです。



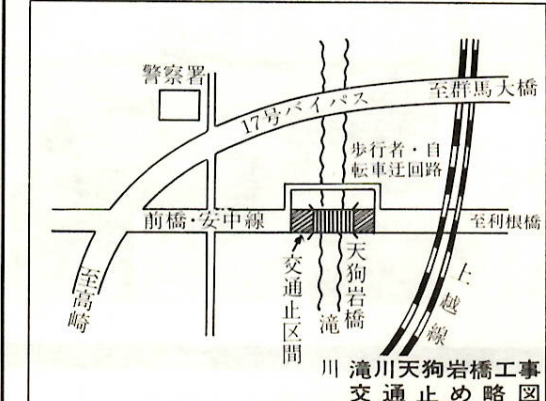
婦人消防士の訪問に話もはずむ。おとしよりの話は婦人消防士にとっても大変勉強になる。

そこで、火災期を前に十人の婦人消防士が市内にいる約千人のねたきり老人、独居老人、身体障害者などの家庭を対象に、火災予防訪問を行なっています。火を使う場所や使用器具類の安全点検をするともに、火気の安全な使い方、安全避難の方法についても話し合

前橋—安中線 天狗岩橋工事で 交通止め 11月25日～3月30日

前橋—安中線の滝川にかかる天狗岩橋の架け替え工事のため、十一月二十五日から明年三月二十日まで、同橋工事区間が交通止めとなります。歩行者、自転車のみならず、自動車の通行は迂回橋が設けられますが、自動車の通行止めとなります。みなさんにはご不便のことと思いますがご了承ください。

(前橋土木事務所・電話31局七五二五)



消防隊の秋の点検が10月22日県営総合グラウンドで行なわれ、市長の点検を受けました。写真は当日行なわれたポンプ操法の訓練。

第 3 期 ジフテリア予防接種 12月8日から

来春小学校へ入学する児童に対するジフテリア(第三期)の予防接種を次のとおり行ないます。近頃の会場で受けてください。

日程

12月8日(金) 上川郡公民館、下川郡公民館、永明公民館、

12月11日(月) 東公民館、元総社公民館、総社公民館、清里公民館、

12月12日(火) 桂郷公民館、芳賀公民館、南郷公民館、若宮小学校、

12月13日(水) 駒形会議所、城南小学校、天川小学校、広瀬コミュニティセンター、

12月14日(木) 中川小学校、桃井小学校、敷島小学校、

12月15日(金) 母子健康センター、

○いづれも二時～二時五十分

【対象者】昭和四十八年四月に小学校へ入学する児童(昭和四十一年四月二日から昭和四十二年四月一日までに生まれたお子さん)。

【注意事項】①接種の前に健康状態について、問診票を提出していただきますから、当日の体温を計ってください。なお、必ず保護者が付き添ってください。手帳を必ず持参してください。

【健康診断】会場で問診、予防を行ないますが、次のいずれかに該当する場合は接種をしません。①熱がある。②心臓・血管系・腎臓・肝臓・の病気がある。③糖尿病・



(医師)保健指導等。

【対象者】昭和四十六年九月一日から四十七年八月三十一日までの出生児。

【受付時間】各会場とも午後一時三十分から三時まで。

【接種後の注意】①当日は、はげしい運動、入浴はさける。②接種後、接種部位があかくなる・いたい・軽い発熱などがあります。しかし、高熱・おう吐・けいれんその他異常な症状があるときは、すみやかに医師の診察を受けてください。

【接種日程と会場】
11月24日(金) 芳賀公民館(芳賀全地区)。元総社公民館(七十七区元総社・大友町・大渡町)。
11月27日(月) 下川郡公民館(下川郡全地区)。
11月28日(火) 元総社公民館(七十八区元総社・鳥羽町)。
11月29日(水) 駒形会議所(駒形町・上北地区)朝倉地公民館(朝倉地・朝倉町)。
11月30日(木) 永明公民館(駒形町を除く永明地区)。

11月の乳児検診を受けてください

「新市域を対象」

心身ともにすこやかで、丈夫な赤ちゃんに育てるための乳児検診を次のとおり行ないます。母子健康手帳を持参ください。

なお、今回は一日号でお知らせした以外の地区です。

【内容】問診・身体計測・診察・

集団献血にご協力を

市では、気軽にできる助け合いとして集団献血を次のとおり行ないます。市民の皆さんのご協力をお願いします。日時は、十二月八日(金)桃川小学校、午前十時から十二時。南郷団地広場、午後一時から三時。

米穀購入通帳の有効期間を延長

48年11月31日まで

現在みなさんが使用している「一般米穀購入通帳」の有効期間は、昭和46年11月1日から47年11月30日までとなっていますが、その期間が昭和48年11月30日まで延長されます。いまお持ちの通帳は、もう一年使用されますのでご承知ください。

お米のあれこれ

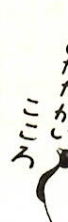
【配給品目と価格】①政府配給米 標準価格米六百四十円(産地指定銘柄以外の46・47年産米桶うるち米114等) 徳用上米千三百円(46・47年産米桶うるち米5等米および44・45年産米桶うるち米114等) 徳用米千二百五十円(産地指定銘柄以外の46・47年産米桶うるち米114等) ②自主流通米 千九百円から二千二百円(ササニシキ、コシヒカリ等の銘柄米)。

【お米屋さん自由】市内で、県の登録を受けているお米屋さんなら、どの店でも受けられます。

国民年金事業推進月間

十一月は、国民年金事業推進月間です。

この月間は、県、市町村および国民年金の民間地区組織が一体となって、その年度の重点事業を集中的に実施し、あわせて、懸垂幕や立看板の掲示、座談会や説明会を開催し、広く県民一般に国民年金制度の認識を深めてもらうことを目的として、実施しています。



【現金二万円】千代田町二丁目八十一番一戸から社会福祉へ

【現金一万円】市内の匿名のかたから交通遺児へ。

【現金二万円】国領町一丁目十五番一戸から社会福祉へ

【現金二万円】匿名のかたから。

【現金二万七千二百六十六円】若宮町四丁目自治会から。

【現金五万円】南町三丁目十九番一戸から社会福祉へ

【現金一萬六千円】住吉町二丁目一十八番四号から社会福祉へ

【現金一萬六千円】住吉町二丁目一十八番四号から社会福祉へ

【現金一萬六千円】住吉町二丁目一十八番四号から社会福祉へ

【現金一萬六千円】住吉町二丁目一十八番四号から社会福祉へ

【現金一萬六千円】住吉町二丁目一十八番四号から社会福祉へ

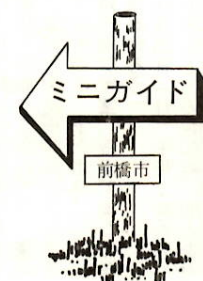
【現金一萬六千円】住吉町二丁目一十八番四号から社会福祉へ

【現金一萬六千円】住吉町二丁目一十八番四号から社会福祉へ

【現金一萬六千円】住吉町二丁目一十八番四号から社会福祉へ

【現金一萬六千円】住吉町二丁目一十八番四号から社会福祉へ

【現金一萬六千円】住吉町二丁目一十八番四号から社会福祉へ



ミニガイド

短縮コースの受講資格が得られます。

【陸・海・空自衛隊生徒募集】自

の生徒を対象とし、高校教育を修了

させ、通信電子関係の技術部門の

担当者養成するため、陸上生徒

五百二十人、海上百二十人、航空

百人、計七百四十人を募集してい

ます。応募資格は四十八年四月一

日現在十五歳以上十七歳未満の男

子で、中学を卒業見込み、または

卒業した人。申し込みは十二月二

十三日まで。自衛隊群馬地方連絡

部(南町三丁目三三二〇、電話

21局四四七二)へ。待遇は一学年

三万四千円と年三回のボーナス、

衣食住、学用品教科書代、すべて

無料です。

伝説とその付近

片腕地蔵(石倉町)

群馬大橋を渡って石倉町にやってきました。上越線と交差する前橋陸橋の手前で右に折れ、大渡橋に通ずる道を二〇メートルほど行った左側に、林倉寺があります。このお寺には、片腕地蔵と呼ばれるお地蔵様があって、次のような話が伝えられています。

「身代わり地蔵とも呼ばれるもので、林倉寺の境内にある。去る年、大渡橋に強盗があらわれ、主人を傷つけようとした折に身代わりになって片腕犠牲にしたのがこの地蔵で、災難を一身に引き受ける地蔵として、かつて信仰を集めたけれども、最近訪れる

といまして、昔はそりや淋しいところでした。ここでの出来ごとだといっていました。わたしもしばらくお地蔵様を見てないが、林倉寺の本堂わきに大日様と並んでありました。さあどつちの腕がなかったかなあ」と考えながら話してくれました。この話を聞いて再び林倉寺を訪ねてみると、ちょうど住職が、土の中から掘り出したところでした。聞かされた地蔵様であることを確認しました。

地蔵様は、頭から胸にかけての部分のなものでした。たいへんうぶなものでしたが、さてどちらの腕がなかったかというところよくわかりませんが、どうも右手がなかったように思えます。その外の部分の発見とともに、ぜひこの世に再現してほしいものです。

林倉寺といえ、明治十一年九月明治天皇が北陸、

途中で、この前橋に行幸され前橋生糸改所にお立ち寄りになり、泊まられたことがあります。

当時この利根川には、舟橋の宇佐美橋がなく、万一のことを考え明治天皇は、この林倉寺で衣を着替えられ、小休止のち御輿に乗られ、この橋を渡られて前橋へ入られました。

いま、この利根川には新時代を象徴するかのよう、中央大橋の工事が着々と進められています。そして、そのたもと王山古墳は発掘され、墓石がたいへんきれいで、ここでも新旧対象の姿をみるこ

とができます。

林倉寺にある片腕地蔵

人も少なくなつたようである。」(元総社村誌)

さう、林倉寺にあるというこのお地蔵様を訪ねてみましたが、見あたりませんでした。

そこで付近に住む関義明さんにお聞きしてみました。

「わたしどもは片腕地蔵といっています。いつごろの話かわかりませんが、わたしの嘉永四年(一八五二)生まれのおじいさんがいまして、よくこのお地蔵様の話をしてくれました。話は大体そんなところですが、その場所は、いま中央大橋のたもとで古墳を掘



林倉寺にある片腕地蔵